

矢巾町定例記者会見

日 時：平成31年1月8日（火）
午前10時～10時30分
場 所：2-2会議室

【内容】

- 1 家族ドローン教室の開催について
（企画財政課）
- 2 おそなえ餅鏡開きについて
（産業振興課）
- 3 銀河のしずく給食試食会について
（産業振興課）
- 4 第2回地元学び塾 ～雪の下から冬野菜編～ の開催について
（産業振興課）
- 5 奇祭スミつけ祭りの開催について
（産業振興課）
- 6 子ども議会の開催について
（学務課）
- 7 矢巾町スポーツのまち宣言について
（社会教育課）
- 8 第43回矢巾町郷土芸能大会の開催について
（社会教育課）
- 9 矢巾町民劇場第23回公演「福の神よけない しあわせはどこに ～煙山の民話より～」の開催について
（社会教育課）

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 1

発表日時	平成31年1月8日（火）午前10時から
案件名	家族ドローン教室の開催について
所管部署	企画財政課 情報係 担当者 菅原保之

発表要旨

ドローンに関する知識について、家族で正しく理解し楽しく学びながら、多様な用途で使用できるドローンの魅力を実感してもらうことを目的とします。

○日時 平成31年1月27日（日） 午前9時から正午

○場所 矢巾町農村環境改善センター（室岡）

○対象 小学校4年生～6年生の児童とそのご家族

○内容 ドローンの基礎知識
シミュレーター体験
ミニドローン操縦体験プログラム（先着50組）
プログラミング体験プログラム（先着20組）

○主催 矢巾町

○協力 一般社団法人いわてドローン操縦士協会

※詳細については、別添チラシのとおり

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 2

発表日時	平成31年1月8日（火）午前10時から
案件名	おそなえ餅鏡開きについて
所管部署	産業振興課 農林係 担当者 川村 雄

発表要旨

- 日時 平成31年1月10日木曜日 午前11時30分から午後1時まで
- 場所 社会福祉法人矢巾親和会ふどうこども園 ホール
- 主催 矢巾町
- 内容 平成30年12月28日（金）のおそなえ贈呈式に続いて行う園児への年中行事体験です。岩手中央農業協同組合もち米生産部会矢巾支部高橋支部長より、鏡餅を田口園長へ贈呈します。
その後、田口園長からのおそなえや鏡開きの由来等のお話をしていただき、昼食会で地元産の餅を使用した料理を食べてもらいます。

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 3

発表日時	平成31年1月8日(火)
案件名	銀河のしずく給食試食会について
所管部署	産業振興課 農林係 担当者 藤原奈美

発表要旨

学校給食を通じて町内の児童生徒に町内産の米や農作物の理解を深め、岩手県育成品種「銀河のしずく」について学び、町内産農産物の消費拡大を図ることを目的として開催します。

○日時 平成31年1月25日(金) 午後0時15分から午後1時

○場所 煙山小学校

○主催 矢巾町産業振興課、学校共同調理場

○内容 1月25日の学校給食メニューにて「銀河のしずく」白米と町産食材を使用した味噌汁、おかず、町産リンゴを使用したゼリーの給食を提供します。

煙山小学校5年生と煙山地区の銀河のしずくの生産者、関係機関が共に「銀河のしずく」給食を味わいながら、小学生に向けて生産者から米づくりの大変さや重要性、郷土の食の豊かさを紹介いただきます。

○その他 昨年度は不動小学校で開催しました。

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 4

発表日時	平成31年1月8日（火）午前10時から
案件名	第2回地元学び塾 ～雪の下から冬野菜編～ の開催について
所管部署	産業振興課 農林係 担当者 阿部 麻美

発表要旨

地域製品のブランド化を進める上で、地域住民の理解が大切な時代になっています。地域に愛されない商品は一時的に売れても、すぐに衰退してしまう場合が多く、生産者の思いや、地域性のようなストーリーが重要と考えます。

そこで、矢巾町に住み、農業や地域に興味がある人を中心に、農業を通して、学ぶ楽しさ、体験する楽しさ、食べる楽しさ、話す楽しさを経験してもらう「地元学び塾」を生産者と企画しました。生産者さんが自ら講師となり、現場から生きた情報を発信してもらうことを目的としています。

○事業名 地元学び塾 ～雪の下から冬野菜編～

○日時 平成31年2月3日（日）午前10時から午後2時 ※雪天決行

○場所 集合矢巾町役場正面玄関

○講師 有限会社北方 村松 典子さん「人参畑」

川村農園 川村 岩さん「キャベツ畑」

- 内容
1. 生産者による作り方や苦労などを講義、参加者からの質問
 2. 圃場での収穫体験
 3. 収穫した野菜の試食及び郷土料理の昼食会 野菜の食べ比べ
 4. 農産物の販売

【参加費】 1,000円

【定員】 15名 ※12月14日及び28日の広報、SNS、HP等で募集。

【今後の展望】 6次産業化セミナーにて今年度の取組について振り返りを行うとともに、来年度の継続事業として企画予定。（H31は全3回の実施）

※詳細については、別添チラシのとおり

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 5

発表日時	平成31年1月8日（火）午前10時から
案件名	奇祭スミつけ祭りの開催について
所管部署	産業振興課 観光物産係 担当者 佐々木 幸

発表要旨

冬の風物詩として地域をはじめ町内の方々に親しまれている「奇祭スミつけ祭り」が下記日程で開催されます。

この祭りは「焼(やき)観音(かんのん)お年越(としこし)行事」として四百数十年前から城内地区に伝えられており、災難消除や無病息災、五穀豊穰を祈りお互いの顔にスミ（消し炭）を付け合う「奇祭」といわれており、毎年多くの来場者があります。

当日は、餅・みかん・豆まきもあります。ご家族や友人などお誘い合わせのうえご参加ください。

記

《スミつけ祭り》

- 日時 平成31年2月2日（土） 午後6時から午後8時
- 場所 千手観音堂（実相寺裏） 矢巾町大字煙山第6地割84番地1
- 問い合わせ スミつけ祭り実行委員会事務局（実相寺内） 電話697-5631

《スミつけ祭り写真コンクール（矢巾町観光協会）》

- 応募期間 平成31年2月4日（月）から13日（水）
- 問い合わせ 矢巾町観光協会（矢巾町産業振興課内） 電話611-2605

《スミつけ祭り写真コンクール応募作品展示（矢巾町観光協会）》

- 平成31年2月28日（木）から 7日（木） 矢巾町役場1階町民ホール
- 平成31年3月 8日（金）から15日（金） やはばーく

※詳細については、別添チラシのとおり

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 6

発表日時	平成31年1月8日（火）午前10時から
案件名	子ども議会の開催について
所管部署	学務課 総務係 担当者 田村 琢也

発表要旨

○日時 平成31年1月24日（木）午後2時から

○場所 役場4階議場

○目的 町の未来を担う子どもたちが自分たちで課題を発見し、町の問題点や夢などの提言を通して、政治や地域に対する関心を深めるとともに、町づくりに参画する意識を高め、郷土を愛する心を育てることを目的とします。

○構成 小中学校 各校4人 合計24人
 （可能な限り、過去に参加経験のない児童生徒を対象とします。）

○実施方法 ・議員は、各学校で選出する児童生徒とします。
 ・一般質問の質問者は、代表1名とし、それぞれ「一問一答方式」とします。
 ・質問は原則として「1人1問、4分以内」とします。

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 7

発表日時	平成31年1月8日（火）午前10時から
案件名	矢巾町スポーツのまち宣言について
所管部署	社会教育課 生涯学習係 担当者 鎌田大樹

発表要旨

矢巾町は“スポーツのまち”を宣言します！

町では、住民一人ひとりがいつもスポーツを身近に感じられる機会を日常的につくり上げることを目指し、「スポーツのまち やはば」を宣言します。

これに合わせ、だれもが気軽にスポーツに取り組み、スポーツへの意識を高めることを目的とし、「矢巾町スポーツシンポジウム」を下記の日程で開催します。

入場無料ですので、どなたでも参加できます。

記

○日時 平成31年1月19日（土）午前10時から

○場所 田園ホール

○主催 矢巾町、矢巾町教育委員会

○内容 (1) スポーツのまち宣言

(2) 第1部 基調講演

講演者 豊田圭史氏（富士大学硬式野球部監督）

(3) 第2部 パネルディスカッション

コーディネーター 西郷晃氏（矢巾北中学校長）

パネリスト 村松正夫氏（矢巾町体育協会会長）

工藤真理子氏（楽々クラブ矢巾会長）

横澤高德氏（パラリンピアン バンクーバーパラリンピック
ルペンスキー出場）

長澤興祐氏（矢巾町出身 足立区議会議員）

射守矢成美氏（矢巾北中学校卒 平成30年度国体
ハンドボール競技出場）

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 8

発表日時	平成31年1月8日（火）午前10時から
案件名	第43回矢巾町郷土芸能大会の開催について
所管部署	社会教育課 文化財係 担当者 川村 恵利奈
<p>発表要旨</p> <p>○日時 平成31年1月20日（日）午前10時から</p> <p>○場所 田園ホール</p> <p>○内容 この郷土芸能大会は、町内に古くから伝わる郷土芸能を公開し、広く鑑賞する機会を提供するとともに、郷土芸能の伝承保存に努めている団体の活性化を図ることを目的として開催します。</p> <p>今年は、町内団体8団体が出演し、そのうち、北郡山さんさ踊りは、平成30年8月6日に矢巾町指定無形民俗文化財に指定された団体です。</p> <p>また、ゲスト団体の一戸町「根反鹿踊り」、盛岡市「黒川田植踊り」は、中高生が踊り手として活躍しており、パワフルな踊りが魅力となっています。</p> <p>○出演団体 町内団体8団体、 白沢神楽保存会、高田念仏剣舞保存会、徳丹獅子舞保存会、 西徳田伝承さんさ踊保存会、白沢さんさ踊保存会、矢巾町民謡保存会、 北郡山さんさ踊り保存会、室岡獅子踊保存会、</p> <p>ゲスト団体2団体 根反鹿踊り保存会（一戸町）※県指定無形民俗文化財 黒川田植踊り保存会（盛岡市）</p>	

矢巾町定例記者会見発表事項概要書

No. 9

発表日時	平成31年1月8日（火）午前10時から
案件名	矢巾町民劇場第23回公演 「福の神よけない しあわせはどこに ～煙山の民話より～」 の開催について
所管部署	社会教育課 生涯学習係 担当者 門脇耕一

発表要旨

○日時 平成31年2月 9日（土） 開演 午後6時30分から
2月10日（日） 開演 午後1時30分から

○場所 田園ホール

○内容 矢巾町民劇場実行委員会では、平成5年に旗揚げ公演を行って以来、演劇を通して町民の社会参加、芸術文化活動の振興を図るため、脚本や演出、役者、照明、音響、舞台セットなどの裏方にいたるまで、すべてが町民による手作り舞台を上演してきました。

23回目を迎える今回は、矢巾町に伝わる昔話を題材にした公演で、人間の幸せとは何かを考えさせられるストーリーとなっており、スタッフ一同、新たな気持ちで取り組んでいます。

入場料は、一般1,000円、高校生以下500円（それぞれ当日200円増し）で、町内外のプレイガイドで販売しています。

※詳細については、別添チラシのとおり

主イベント

【お知らせ】

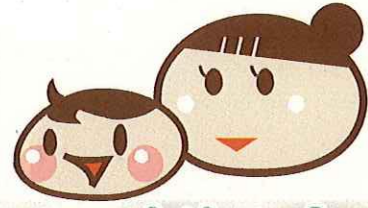
1月中旬から2月中旬までの主なスケジュール

- 1月10日（木） おそなえ餅鏡開き
（午前11時30分～ 不動こども園）
- 13日（日） 矢巾町成人式
（午後1時30分～ 田園ホール）
- 15日（火） 矢巾町及びJA鏡開き
（午後5時～ 矢巾地域営農センター2階）
- 19日（土） 矢巾町スポーツのまち宣言
（午前10時～ 田園ホール）
- 20日（日） 矢巾町郷土芸能大会
（午前10時～ 田園ホール）
- 24日（木） 矢巾町子ども議会
（午後2時～ 議場）
- 25日（金） 銀河のしずく給食試食会
（午後0時15分～ 煙山小学校）
- 27日（日） 家族ドローン教室
（午前9時～ 矢巾町農村環境改善センター（室岡））
- 29日（火） 広宮沢第二地区土地区画整理事業完工式
（午後2時～ 矢巾町公民館3階）
- 2月 2日（土） 奇祭スミつけ祭り
〔午後5時～ 実相寺本堂〕
〔午後6時～ 観音堂〕
- 8日（金） 矢巾町民スポーツ大会総合閉会式
（午後6時～ 矢巾町公民館3階大研修室）
- 9日（土） 矢巾町女性のつどい
（午後1時30分～ 町公民館3階）
矢巾町民劇場第23回公演「福の神よけない しあわせはどこに」
（午後6時30分～ 田園ホール）
- 10日（日） 矢巾町民劇場第23回公演「福の神よけない しあわせはどこに」
（午後1時30分～ 田園ホール）
- 12日（火） 矢巾町定例記者会見
（午前10時～ 2-2会議室）

※ イベントの詳細については、直接、担当課にお問い合わせください。



家族 ドローン教室



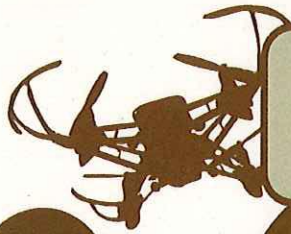
募集対象：小学校4年生～6年生の児童とその家族のペア

1月
27日
9:00▶
12:00

会場：矢巾町農村環境改善センター
(矢巾町大字室岡 11-132-1)



会場地図



参加者全員で受講

- ドローンの基礎知識
- シミュレーター体験

コース選択

先着
50組

ミニドローン
操縦体験

先着
20組

ドローン
プログラミング
体験



ミニドローン操縦体験



ドローンプログラミング体験

仕事や趣味といったさまざまな分野での活用が期待されているドローン。

町では、家族でドローンの基礎知識や操縦・プログラミング体験ができる「家族ドローン教室」を開催します。

講師は（一社）いわてドローン操縦士協会の協会員が務め、ドローンの魅力や基礎知識を皆さんに伝えます。

定員は先着70組で、定員になり次第申し込みを締め切ります。参加を希望する方はお早めに申し込みください。

※70組はドローンの基礎知識とシミュレーター体験をし、ミニドローン操縦体験50組、ドローンプログラミング体験20組に分かれます。

募集要項

【申込受付】平成30年12月19日（水）午前9時から申込受付を開始

※定員になり次第、申し込みを締め切ります。

【申込方法】平日の午前9時から午後5時までの間に、電話で役場企画財政課 情報係（☎611-2724）へ。

※申し込みの際に①氏名（小学校・学年）②住所③連絡先④希望するコースをお知らせください。

【参加料】無料

【必要なもの】室内シューズ等、防寒対策

【お願い】①申込後のキャンセルは受け付けません。

②当日は、午前8時50分までに会場へお集まりください。



第2回 地元学び塾

雪の下から冬野菜?!編

開催日：平成31年2月3日(日)

内容：①キャベツ・にんじんの収穫体験
徳田・煙山地区の野菜畑にて、実際に雪の下から野菜を収穫します。

②雪の下で育てる野菜を学ぼう
東徳田公民館にて、雪の下で育った野菜が普通に育てた野菜とどう違うのか学びます。

③矢巾町産野菜を使った昼食会
矢巾町内の農家のお母さんが作るお昼ご飯を食べて、町産野菜を味わいましょう。

【雪の下から冬野菜…?!】

農家の知恵のひとつとして、秋に収穫した野菜を雪の下に保存する「雪下野菜」というのがあります。一般的に雪の下で野菜を寝かせると、甘みが増したり、栄養価があがるといわれています。冬野菜の収穫体験をとおして、矢巾町の冬野菜の魅力について学びましょう!

当日のスケジュール(予定)

- 9:30 受付開始
- 10:00 矢巾町役場南側正面玄関前
集合
マイクロバスにて移動
- 10:15 収穫体験(徳田・煙山地区)
マイクロバスにて移動
- 11:30 東徳田公民館 着
- 11:40 座学&昼食会
- 13:00 振り返り
- 13:45 東徳田公民館 発
マイクロバスにて移動
- 14:00 矢巾町役場 着 解散

- ・ 持ち物：軍手、長靴
暖かい服装でご参加ください
- ・ 参加費：1,000円(収穫体験+昼食代として)
- ・ 定員：先着15名
- ・ 参加申し込み方法：
お電話にてお申し込みください
矢巾町役場 産業振興課農林係
TEL:019-611-2612(担当:阿部)
締め切り：平成31年1月18日(金)
17時まで

第8回スミつけ祭り写真コンクール最優秀賞作品



奇祭

スミつけ祭り



開催場所: 実相寺裏・観音堂

問合せ先: スミつけ祭り実行委員会事務局

☎ 019-697-5631 (実相寺)



スミつけ祭りとは

矢巾町城内地区に四百数十年前から伝わる奇祭です。
別名「歳袴焚き（せあどたき）」とも呼ばれる観音堂のお年越し行事であり、
災難除けや無病息災を祈り、顔にスミを付け合う祭りです。

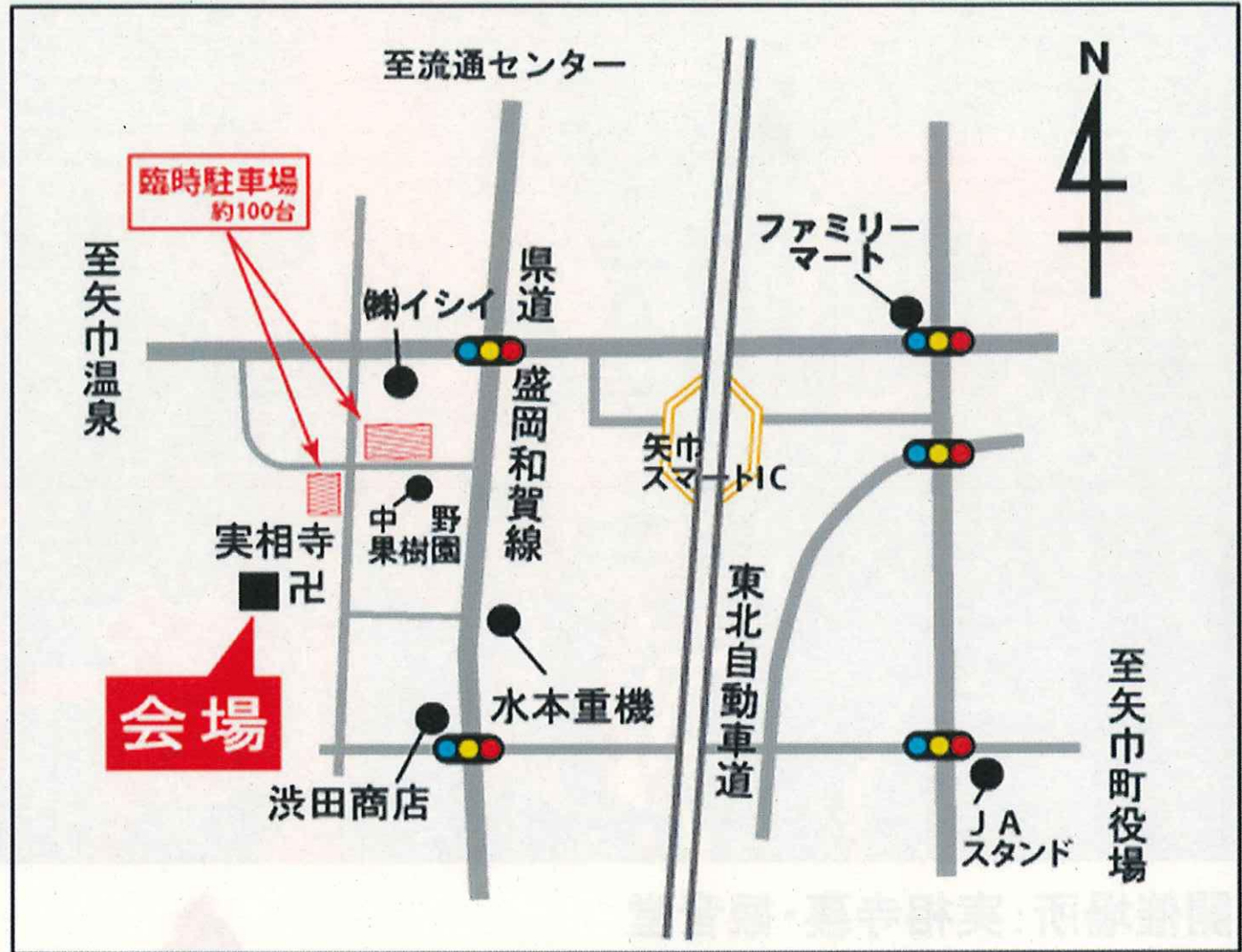
18:00～ スミつけ祭り開始
「甘酒のふるまい」もあります！



18:15頃 餅・みかん・まめまき



19:30頃
スミつけコンテンツ
記念品贈呈



※ 当日の会場周辺は混雑が予想されます。
路上 駐車はご遠慮ください。

特別出演 黒川田植踊り

くろかわたうえおどり (盛岡市)

特別出演

根反鹿踊り (一戸町)

ねそりししおどり

町内外10団体がふるさとの思い伝える

第43回矢巾町 郷土芸能大会



白沢神楽



高田念仏剣舞



徳丹獅子踊



黒川田植踊り(盛岡市)



西徳田伝承さんさ踊



根反鹿踊り(一戸町)



白沢さんさ踊



矢巾町民謡保存会



北郡山さんさ踊り



室岡獅子踊

会場：矢巾町 田園ホール

入場無料 全席自由 ※食事の販売も行います

主催：矢巾町郷土芸能保存会、矢巾町教育委員会

共催：矢巾町芸術文化振興基金運営委員会

後援：(一社)岩手県文化財愛護協会、矢巾町観光協会

矢巾町芸術文化協会、不動っ子の集い実行委員会

問合せ：矢巾町郷土芸能保存会事務局 (矢巾町教育委員会社会教育課文化財係 019-611-2860)

平成31年1月

20日

10時開演 (開場9:30)

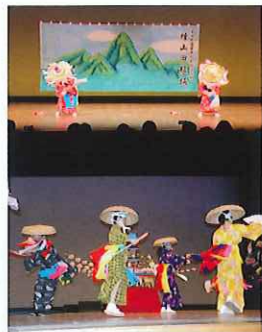


矢巾町と郷土芸能

まちづくりの礎音が響き渡る矢巾町には、古くから伝わる郷土芸能がたくさんあります。矢巾町の郷土芸能には、神楽、大神楽、田植踊、念仏剣舞、獅子踊、盆踊りなどの種類があり民俗芸能をほぼ網羅しています。

神楽は、神社の祭礼に奉納して、春には悪魔を祓い豊作をねがい町民の安穩を祈ります。神楽では、日本神話に題材を求めた演目で神の神徳を伝え、人々の結束と繁栄を祈ると同時に娯楽として、秋に祭りでは豊作に感謝の意を神に伝え、村人と一緒に興じてきました。

大神楽は、伊勢の神を獅子頭に託して悪魔を祓い、商売繁盛、延命長寿など祈願する獅子舞です。矢巾町には、七軒丁と言う江戸時代盛岡藩のお抱え芸能集団によって広められた館前南部七軒丁大神楽があります。しかも最後の七軒丁御駒太夫から直接相伝された由緒ある大神楽です。大神楽は獅子舞の他に万歳や狂言・囃子舞など余興芸が人気で昔は広範囲に巡業して歩きました。



田植踊は、小正月に豊作を願って家を巡り踊り演じた「予祝（豊作を予め祝う）」芸能で、田植の様子を順序立てて華麗に踊り愉快に演じて村人を楽しませました。万歳、狂言、手踊りなどの余興芸を夜遅くまで飲食で興じた農作業が始まる前の最大の娯楽でした。

念仏剣舞は、お盆の供養にお寺や新盆の家を廻る先祖供養の踊りです。太鼓、笛、鉦、ささら等の伴奏で南無阿弥陀仏を歌いながら華麗に踊る姿に在りし日の人々を思い浮かべ供養の気持ちを新たにしてくたのでしょうか。念仏剣舞は、平安時代に空也上人が浄土信仰を広めるために始めたと言われる踊念仏に端を発し、鎌倉時代の一遍上人の踊念仏に至り、庶民への浄土信仰の浸透をみて、山伏修験などが係わりを持ちながら、現在の様な形の芸能へと発展してきたようです。



獅子踊は、神楽の獅子舞とは異なり、鹿を模した装束で豊作祈願や雨乞いをする東北地方独特の芸能で岩手や宮城では盆の供養も行っています。矢巾町の獅子踊りは、旧紫波郡内に広がる系統で頭から前に垂れ下がる幕を振りながら三頭から八頭で輪になったり隊列を組んだりして踊ります。太鼓を打つ囃子方は別におり、岩手県南に多い太鼓を抱えて自ら囃子踊る鹿踊とは構成が違いますが、唄や踊りの意味合いは同じ様な部分があります。



矢巾町の盆踊りは、全て「さんさ踊り」で幾つかの伝承経路で村々に定着した踊りです。盆踊りは、名前の通りお盆に先祖供養の為に踊ると同時に楽しみを分かち合う年中行事の踊りです。さんさ踊りは、江戸時代に様々な芸能から要素を取り入れて盆の門付け芸能として確立したようです。盆踊りの起源は、仏教が伝来して盂蘭盆会が広まった事に由来するとも考えられますが、魏志倭人伝（3世紀）によると人が死んだときは10日余り肉を食べず、喪主は大声を上げて泣き、他の人は「歌舞飲酒」をすると言われます。起源とは言いきれませんが日本古来の風習としての供養がこの様な形であったようです。

矢巾町には、1200年前の律令国家最後の城柵「徳丹城」跡があります。古代の律令国家を知る上で木製冑や琴などの貴重な発見がありました。その時代にどのような文化が普及していたかは定かではありませんが、都の文化の一端が華やかでいたであろう事は想像出来ます。現在の様な民俗芸能が庶民に広く定着したのは、江戸元禄時代と考えられます。幕藩体制が整い、灌漑用水路が整備され開田が進み、村が整い民心が安定して暮らしに潤いが出来た後、様々な年中行事に神事や娯楽が行われていったのでしょうか。



明治以降西洋文明が入り庶民に深く浸透したのも関わらず民俗芸能（郷土芸能）が、長い歴史を経ても現在に継承されたのは、暮らしに密着した地域文化だったからに違いありません。コミュニティで楽しみを分かち合い共感し合う郷土芸能は、矢巾町のふるさと作りにこれからも大いに羽ばたいてくれることでしょう。

特別出演「根反鹿踊り」（一戸町）

根反鹿踊りは、特別天然記念物「根反の大珪化木」（1700万年前火山灰に埋もれて出来た）のある集落で伝承されています。言い伝えでは、加賀国から来た修験者が伝えたと言います。

演目は「入り込みの舞」「本舞」「役舞」「白鷺の舞」「庭引の舞」で役舞はいわゆる「雌鹿狂い」で雌鹿を得るために2頭の雄鹿が争う姿を踊ります。

昔は集落を門打ちしていましたが、現在は8月下旬の一戸祭りの御神輿渡御に参列し、神社で奉納して、門打ちをしています。又11月の一戸町郷土芸能祭に出演しています。

昭和41年に結成された保存会は中学生から70代までで構成しており毎週土曜日に練習をしています。

平成6年、一戸南小学校に根反鹿踊り伝承クラブが発足し保存会の指導で活動しており、学習発表会の出演を始め、町内外の様々なイベントに依頼され、伝承活動に弾みをつけています。

特別出演「黒川田植踊り」（盛岡市）

黒川田植踊りの巻物の口上によると神代に始まると言います。又近隣の田植踊の流を汲むとも、東北線開通のため宮崎県出身の技師が滞在したおりに、お礼として田植踊、太鼓の上に乗って笠振り（三つ笠など）を教えたとも、由来は諸説あります。明治初めより小正月に盛んに上演されていましたが、明治40年から長らく中断してしまいました。昭和43年に地元有志が復活のうちに発見した巻物を基に再構成し、北上川東部の田植踊から指導も受けて現在の様な体裁が整えられました。

保存会は、一般成人、中高生を中心に踊りを指導し後継者育成に努めています。

黒川田植踊りは、毎年8月17日に館林神社に奉納し、市内外の公演に依頼されて活動しています。乙部中学校郷土芸能発表会が、毎年8月下旬地区の運動会に併せて行われております。この発表会は乙部中学校学区内にある7つ郷土芸能を地域の生徒が夏休みに練習を積んで発表し既に39回を数え、後継者の育成にもつながっています。演目は舞台清めの三番叟に始まり、一人の先導で踊りが進行します。鉦を持って踊る「春田打ち」、一人の種まき、仲踊り、笠振りと華やかな踊りが展開します。

矢巾町民劇場第23回公演

煙山の民話よ

福の神

しあわせはここに

よけなさい

脚本 / GAKUJIN
脚色 / 矢巾町民劇場制作部
演出 / 佐々木絵梨子

平成31年 2月 9日(土) 18:30開演
2月 10日(日) 13:30開演

会場 / 矢巾町田園ホール

入場料 / 一般 1,000円・小中高生 500円

未就学児無料

※開場は開演の30分前です

※当日券は200円増

主催 / 矢巾町民劇場実行委員会・田園ホール(東北共立・寿広グループ)
後援 / 矢巾町、矢巾町教育委員会、矢巾町芸術文化協会
矢巾町郷土芸能保存会、矢巾町自治公民館連絡協議会
矢巾町芸術文化振興基金運営委員会、岩手日報社
矢巾町青少年健全育成町民会議、盛岡タイムス、NHK盛岡放送局
IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ
ラヂオ・もりおか

お問い合わせ / 矢巾町民劇場実行委員会事務局
電話 019-611-2852 (矢巾町公民館内)

チケット取扱い

田園ホール・ショッピングモールアルコ・総合衣料かわむら・昆源本店・ローソン花矢巾ニュータウン店
盛岡南ショッピングセンターナックス・セブンイレブン矢巾町高田店・セブンイレブン盛岡内丸店・セブンイレブン盛岡夕顔瀬町店

ポスター画 / 渡部 幸恵

出演者

佐々木四士美	矢巾2区	菊池 愛美	矢巾中学校	1年
室岡 秀典	新田1区	熊谷 煌明	見前中学校	1年
田巻 晃	高田3区	小倉 遼斗	見前中学校	1年
藤原 翔一	新田2区	藤原 幸平	矢巾東小学校	6年
室岡 静子	室岡行政区	佐々木佳菜絵	煙山小学校	6年
昆 梓沙	高田2区	菊池 陸叶	矢巾東小学校	5年
金田一純香	高田3区	熊谷 志龍	見前小学校	5年
藤原 笙子	白沢行政区	小倉 玲夢	見前小学校	5年
古澤 美香	南矢幅5区	佐藤 蓮斗	不動小学校	4年
渡邊 要	紫波町	上女鹿朱奏	不動小学校	1年
佐藤 勝子	紫波町	昆 麻斗	矢巾東小学校	1年
小原 涼奈	紫波町	鈴木希以華	徳田小学校	1年
千坂 孝則	盛岡市	佐藤 大斗	ふどうこども園	年長
古川 岳夫	花巻市	菊池 萌生	ふどうこども園	年長
楢館しおり	花巻市	川村 惟織	ふどうこども園	年長
嶋岡 紗生	盛岡工業高校	沼田 稟乃	やはばこども園	年長
藤原 世夢	盛岡第三高校	関川 結月	やはばこども園	年長
白澤 勉	矢巾3区	藤原 心音	北高田保育園	年少
横澤 雅弘	矢巾1区	関川 絢加	やはばこども園	3歳
菊池 悠叶	矢巾北中学校	吉田珠々音	やはばこども園	3歳

他、多数出演予定!

◇あらすじ 2幕10場

ある年の暮れ。村人の佐兵は南昌山へ行き、門松用の松を採った帰り、策淵を通りかかると水が渦を巻いていた。面白半分で佐兵は松の枝を投げ入れた。すると淵の姫が現れ松の礼を言い「淵の主が、何か礼に、と言ったら“よけない”が欲しいと言いなさい」と伝える。そして佐兵は淵の中にある立派な館に連れられ歓迎を受け、姫に教わった通り“よけない”が欲しいと言うと、現れたのは汚い子どもだった。立派なものを期待していた佐兵は最初はだまされたと思っていたが、家に戻りしばらくすると米や銭がいっぱいになり、暮らしが豊かになる。佐兵は掟に従い“よけない”を人目につかない場所へ置き、毎日のぞいてはニコっと笑い山や町へと出かけた。不思議に思った佐兵の妻、なみは偶然“よけない”を見つけ、驚きのあまり追い出してしまう。帰宅した佐兵は“よけない”がない事に気が付き、なみを問い詰め悲しみに暮れる。福の神だという事を知ったなみは、行方不明になった“よけない”を捜しに出るが…。

福の神“よけない”を通して描かれる「しあわせ」とは何か一。矢巾町に伝わる昔話にオリジナルを加えた福の神の物語。どうぞお楽しみに!

平成31年

2月9日(土) 18:30開演

10日(日) 13:30開演

※開場は開演の30分前です

会場 矢巾町田園ホール

入場料 一般 1,000円

小中高生 500円

未就学児無料

※親子室もあります ※当日券は200円増

注意 公演中のカメラ、動画撮影・録音は、お断りいたします。当日の天候により開場を早める場合があります。

チケット取扱い 田園ホール・ショッピングモールアルコ・総合衣料かわむら・昆源本店・ローソン花矢巾ニュータウン店
盛岡南ショッピングセンターナックス・セブンイレブン矢巾町高田店・セブンイレブン盛岡内丸店・セブンイレブン盛岡夕顔瀬町店

主催 矢巾町民劇場実行委員会・田園ホール(東北共立・寿広グループ)

後援 矢巾町、矢巾町教育委員会、矢巾町芸術文化協会、矢巾町郷土芸能保存会、矢巾町自治公民館連絡協議会
矢巾町芸術文化振興基金運営委員会、矢巾町青少年健全育成町民会議、岩手日報社、盛岡タイムス、NHK盛岡放送局
IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、ラヂオ・もりおか

お問い合わせ 矢巾町民劇場実行委員会事務局 電話019-611-2852(矢巾町公民館内)

田園ホールへのアクセス

矢巾町大字南矢幅13-123 TEL019-697-5585

■JR矢幅駅西口より徒歩約20分

■東北自動車道 紫波I.C.より車で約10分
盛岡南I.C.より車で約15分

■駐車場 約400台



田園ホールホームページ

田園ホール

検索

イベント情報や施設利用のご案内がご覧いただけます。

URL <http://www.tohoku-kyoritz.co.jp/yahaba/index2.html>

